

群会議の話題

東京土建一般労働組合

港 支 部

〒105-0014 港区芝2-30-7

TEL 03(3451)6673

FAX 03(3451)6643

建設国保の補助金確保に向けて

11月

今年最後の「財務省」ハガキ要請
ご協力をお願いします。

東京土建国保は、加入している皆さんの保険料と国や都の補助金によって運営されています。

東京土建では毎年、土建国保をはじめとした建設国保の補助金確保に向けて、「補助金満額確保」を求める要請文を厚生労働省・東京都・財務省とそれぞれ1人1シート(4枚)のハガキに書いて、組合で一括して送る「ハガキ要請行動」を行っています。

今月が財務省へのハガキ要請の最終月です。まだ未記入の方は、ぜひご協力をお願いします。ハガキや要請文の書き方、締切日等は支部までお問い合わせください。皆さんの協力で国保組合予算の現行水準確保を勝ちとりましょう。



【2025年 秋の拡大月間】

秋の月間目標達成! 23年連続達成!!

秋の拡大月間の大奮闘、大変お疲れ様でした。今年の秋の月間は、9月1日の活動者会議を皮切りに取り組み、月間の振り返りには、事業所の仲間を集めた事業所交流会中間決起集会をビアガーデン&バーベキューを開催しました。昨年よりも多くの事業所の仲間を集めて開催。総勢56人(昨年47人)の参加者で交流を深め、参加した未加入者にも組合制度説明を行い、組合の魅力を存分に感じてもらう取り組みとなりました。入社拡大が減少する中、あらゆる手立てを尽くし、仲間のつながりを重点に取り組みを重ねて目標を達成させることが出来ました。2か月間のご奮闘ありがとうございました。

大島分会は、今年も達成一番のりを遂げました。新島の仲間が健診受診を動機に組合加入となり3人が超過しました。

みなと分会では延べ14回の行動を実施しました。訪問行動、電話掛けをしながら分会の仲間と対話を積み重ね、粘り強く最後の最期まで奮闘して目標を達成させました。

事業所分会では、9月・10月の2か月間で12社17人成果構成39%(昨年13社24人・一昨年7社24人・拡大数の構成比率53%から減少)と新規採用が大幅に減少しています。建設業での人手不足を色濃く反映した秋の拡大月間でした。

今年は仲間の紹介、仲間のつながりと仲間の団結による拡大でなんとか成果を生み出した厳しい月間となりました。引き続き、事業所からの紹介、仲間のつながりに依拠した拡大運動を追求し、より多くの仲間との対話を重ね組合との信頼関係の構築をしていきます。

建築技能労働者(職人)の社員化で 担い手の確保・育成を

一緒に住宅建築の担い手を育てましょう
東京建築カレッジがお手伝いします

建設・土木業界は就業者数の減少と高齢化が進んでいます。中でも建築大工の減少・高齢化が深刻です。「このままでは仕事ができなくなる」、「今も大工さんがいなくて困っている」の声も。こうした中、これまで「一人親方」などの外注に依存していた建築技能労働者(職人)を社員化する動きが広がり、東京建築カレッジ(以下、カレッジ)に新人を研修派遣する工務店・建設会社が増えていきます。新たに始めたい、という方はお気軽にご相談ください。

建築カレッジを新人の採用・育成に
利用するには

カレッジは無料職業紹介所(所長:小林謙二学校長、「ハローワーク池袋」登録)を開設し、採用後に本校の2年間の教育プログラム参加を社員に保障する中小建設事業主の募集をおこなっています。登録事業所になれば、東京建築カレッジ入学を希望する意欲の高い人材の求職情報を受けることができます。また、「入社したら建築の基礎教育を東京建築カレッジで受けられる」をアピールして採用活動を有利に進めることができます。高校や大学、専門学校への訪問活動でも、教育熱心な工務店・建設会社を印象づけられます。

カレッジ無料職業紹介所は、東京建築カレッジの教育を登録事業所の新規採用と育成に活用する仕組みです。教育内容と特徴を理解していただくために、授業の見学をお願いいたします。



東京建築カレッジの
募集要項、教育内容は
こちらから



ホームページの
お問い合わせフォームや電話で
お気軽にご連絡ください。

TEL 03-5950-1771
東京土建技術研修センター内、
カレッジ係

カレッジ職業紹介所

登録の3要件

- ①労働基準法など雇用のルールをまもる
 - ②学費(教材費等を含む)の全額会社負担
 - ③ハローワークで「求人票(高卒)」を公開できること
- ※年間約120日の勤務時間中の登校の保障

登録の手順

- 書類審査のための提出物(2点)
 - ・「利用確認・誓約書」(代表印の押印必須)
 - ・ハローワーク「求人票(高卒)」(写)または、同「求人申込書(高卒)」(写)
- 書類審査後に、面接審査をおこないます。

新人の採用と教育 当社も登録 しています

●(株)しんせん(杉並支部)

東京都塗装高等技術専門学校での研修に加えて、東京建築カレッジも教育メニューに加えました。塗装の基本を現場で経験しながら、木造住宅建築の基礎知識を新人に習得させます。

●(株)YAZAWA LUMBER(日野支部)

大工職の社員化を2017年度から開始。新人の採用と育成に東京建築カレッジを利用しています。技能五輪大会に2回出場したカレッジ卒業生が後輩の教育係を担当。若手を育てる仕組みができました。



カレッジを利用して採用した若手大工
(株)YAZAWA LUMBER

知って知らせて得する組合員へのお知らせコーナー

建退共 電子申請システムリニューアル 利便性・操作性が大幅向上

建退共の電子申請専用サイトが新しくなりました。これまで元請けと下請け間でのやり取りにおいて、不便があった部分をリニューアルしました。あわせて、CCUSとの連携も始まり、実務負担を軽減できるものとなっています。詳しくは組合の学習会へ参加ください。



建退共HP

	これまで	リニューアル後
電子申請 (掛金納付)	就労実績報告作成ツール(以下「就労ツール」)と電子申請専用サイト(以下「専用サイト」)の二つのシステムで登録	就労ツールを使わず、専用サイトで全ての手続きが完結
	元請下請間や就労ツールと専用サイト間でデータの受渡し(授受)が発生	専用サイトですべての操作が可能となり、データファイルの受渡しが必要
	元請と下請間のやり取りや確認に時間を要する	元請も下請も内容や作業状態をリアルタイムに確認が可能
	データチェックに2営業日必要	当日中にデータチェックが可能
CCUSとの連携	CCUSから「現場・契約情報」や「就業履歴」ファイルをダウンロードし、専用サイトに登録するなど、複数回の手作業が発生	CCUSからデータを自動連携することにより手続きを簡素化
オンライン申請	共済手帳申込などの数種類の手続きのみオンライン申請が可能	すべての手続きについて、オンライン申請が可能(手帳等の添付書類については、郵送による提出が必要)

事業所 セミナー

建退共を味方に

～電子申請活用とCCUSの連携～

実務負担の軽減に向けて電子申請が導入され、10月にリニューアルがおこなわれ使いやすくなりました。どのような流れになるのか一緒に学習しましょう。

日 時 12月24日(水) 午後

会 場 けんせつプラザ会館

対 象 自社で建退共実務をしている事業主・事務担当者など

内 容 建退共制度の仕組みと最近の改正点
電子申請の登録から実際の操作まで
よくある質問と実務対応

電子申請のシステムがリニューアルされました。建退共本部からの説明で、どのようなことができるか、具体的に学習します。

手作業での実務負担の軽減、あわせてCCUSとの連携、活用についても学びます。

申込・問い合わせ

所属支部または東京土建本部 事業所対策

事業者向け 退職金ポイント還元キャンペーン実施中

- 電子申請専用サイトリニューアルに伴い
令和7年10月1日～令和8年8月31日までの期間で実施
- 期間中に退職金ポイントを購入した共済契約者に対し、購入した退職金ポイントの2%(CCUS連携工事の場合は5%)をポイント還元。令和8年4月以降に還元予定。



建設業で働く仲間の“安心の証”

建退共
制度

退職金額早見表

建退共は1日320円の賃上げにつながります。建設業である限り、会社を退職しても貯め続けることができます。CCUSと連携し、就業履歴とともに長く建設業を続けることで退職金がアップしていきます。

年数(月数)	退職金額
1年(12月)	24,192円
5年(60月)	414,087円
10年(120月)	893,559円
15年(180月)	1,409,319円
20年(240月)	1,933,479円
25年(300月)	2,474,439円
30年(360月)	3,038,919円
35年(420月)	3,641,031円
40年(480月)	4,268,007円

今月の署名のお願い

集約は11月22日まで
ご協力をお願いします

●全建総連「適格請求書等保存方式の見直し・負担軽減措置の延長を求める要請」署名

全建総連ではインボイス制度の見直しと負担軽減措置（2割特例計算と8割税額控除）の延長を求める要請署名に取り組みます。

●従来の健康保険証を使い続けられるようにしてください請願署名

健康保険証の新規発行を再開し、これからも利用を継続できるようにする署名に取り組みます。

●じん肺診査ハンドブック改定案の修正を求める請願署名

2025年3月から厚生労働省の労働政策審議会（安全衛生分科会じん肺部会）内で「じん肺診査ハンドブック」改定にむけた議論が行われその中で、学会の同意すら得ていない未完成の検査方法を導入し労災保険法の認定基準を改悪する動きが強められていることを受け、労働者の救済範囲を狭める改悪に反対する厚生労働大臣あて請願署名に取り組みます。

●福島生業（なりわい）訴訟（第2陣）公正判決を求める署名

「生業を返せ、地域を返せ！」福島原発訴訟の目的は、原状回復・すべての被害者の救済・脱原発にあります。こうした目的を達成させるためにも、国と東京電力の責任を認め、被害者の救済を命じる判決を獲得することが、なによりも重要です署名にご協力をお願い致します。

当面の集会や宣伝行動、学習会にご協力ください！

1) 東京社保協・中央社保協「社会保障拡充巣鴨駅宣伝」

〔日程〕11月14日（金）正午〔場所〕巣鴨駅前〔参加要請〕1人 1号

2) 田町駅頭 核兵器廃絶・核兵器禁止条約推進宣伝・署名宣伝行動

〔日程〕11月14日（金）午後6時〔場所〕田町駅芝浦口〔参加要請〕5人 2号

3) 戦争させない総がかり 11.19 行動

〔日程〕11月19日（水）午後6時半〔場所〕衆院第2議員会館前歩道付近〔参加〕3人 2号

4) 11.20 予算要求対都行動・予算要求中央総決起大会

〔日時〕11月20日（木）午前9時〔場所〕都庁第二庁舎・ニッショーホール〔参加〕6人1号

5) 日本政府に核兵器禁止条約の署名

〔日時〕11月21日（金）午後4時半〔場所〕衆院第2議員会館前歩道付近〔参加〕3人 1号

6) 横田基地にオスプレイはいらない 11.23 東京大集会

〔日時〕11月23日（日）午後1時〔場所〕多摩川中央公園〔参加要請〕5人 1号

7) 建設アスベスト訴訟 東京メーカー訴訟 第15回期日

〔日時〕11月25日（火）午後1時〔場所〕東京地裁前〔参加要請〕5人1号

8) 社保拡充・大軍拡反対・大増税反対「国会議員要請行動」

〔日程〕11月26日（水）正午〔場所〕衆院第2議員会館前歩道〔参加要請〕2人 1号

9) マイナンバー制度反対連絡会「保険証をもとに戻せ院内集会・デジタル庁抗議行動」

〔日時〕12月2日（火）午後2時〔場所〕衆院第2議員会館多目的会議室〔参加〕2人1号

10) 「保険証をもとに戻す」港支部独自の地域宣伝行動

〔日時〕12月2日（火）時間未定〔場所〕未定〔参加〕5人2号

11) 社保拡充・大軍拡反対・大増税反対「国会議員要請行動」

〔日程〕12月10日（水）正午〔場所〕衆院第2議員会館前歩道〔参加要請〕2人 1号

12) 東京都連・消費税減税、インボイスの見直しを求める都内3か所キャラバン宣伝行動

〔日時〕12月10日（水）午後12時30分〔場所〕有楽町マリオン前〔参加〕支部3人1号

13) 津島を我が事として 原発被害の全面解決へ共に歩む 12.13 東京集会

〔日時〕12月13日（土）午後1時半〔場所〕日本教育会館8階第2会議室〔参加〕1人1号

2025年11月				2025年12月				2026年1月			
		本部・支部	南B・分会			本部・支部	南B・分会			本部・支部	南B・分会
1	土	中執		1	月	中執		1	木	年末・年始休暇	
2	日			2	火			2	金	年末・年始休暇	
3	月			3	水			3	土	年末・年始休暇	
4	火			4	木			4	日	年末・年始休暇	
5	水	常任		5	金	常任		5	月	仕事始め	
6	木			6	土	餅つき事前準備行動		6	火	常任・執行委員会	
7	金	執行委員会		7	日	支部餅つき大会		7	水		品川支部旗びらき
8	土			8	月	執行委員会		8	木		港区労連旗びらき
9	日			9	火			9	金		
10	月			10	水			10	土		
11	火			11	木			11	日		
12	水		分会執行委員会	12	金		分会執行委員会	12	月		
13	木	一泊主任	シニア群会議	13	土			13	火		分会執行委員会
14	金	一泊主任		14	日			14	水		
15	土			15	月		シニア群会議	15	木	中執 本部旗びらき	シニア群会議
16	日			16	火		南部ブロックPAL	16	金		
17	月			17	水			17	土		
18	火	福寿会 料理教室		18	木		南部ブロック書記研修	18	日		大田支部70周年
19	水	全建総連65周年式典	分会財政部会	19	金		分会財政部会	19	月		
20	木	予算要求集会	後継者対策部会	20	土			20	火		分会財政部会
21	金	分会長書記長会議		21	日			21	水		
22	土			22	月	分会長書記長会議		22	木	書記長・主任 書記合同会議	分会長書記長会議
23	日			23	火	書記局会議		23	金	支部旗びらき	
24	月			24	水			24	土		
25	火	組織財政検討委員会		25	木			25	日		
26	水			26	金	仕事納め 正午		26	月		
27	木	書記局会議	南部ブロック会議	27	土			27	火		南部ブロック新年会
28	金			28	日			28	水		
29	土			29	月	年末・年始休暇		29	木	書記局会議/議案	
30	日			30	火	年末・年始休暇		30	金		
				31	水	年末・年始休暇		31	土		

2026年港支部 新春のつどい(港支部の旗びらき)を開催します！！

【日時】2026年 1 月 23 日(金) 午後 7 時～ 【会場】アニヴェルセル表参道 5 階 サロン

【参加対象】全組合員とその家族 【会費】なんと無料!! 【余興】バイオリン&ギター演奏

※多くの事業所の仲間が参加します。たくさんのお名前をご持参いただき賀詞交換を行ってください!!

※参加申込は港支部まで電話かメール、FAX で受け付けています!ご参加お待ちしております。